

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	公共的コミュニケーションの可視化 - 複雑社会における政治的法的判断の構造	
研究総括	城山 英明	
所属機関・部局・職	東京大学・大学院法学政治学研究科・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>公共的コミュニケーションにおいて、可視化やネットワーク分析の新しい手法の適用を試みる研究テーマである。研究は着実に進展しており、延長によりその展開も期待できる。その中で、特に、リン資源問題については、地球規模のマクロな議論と、農業生産のミクロな個別地域の議論とでは、その取り扱うべき位相が異なると思われる、本研究テーマで試みられている手法による成果に期待したい。</p> <p>なお、可視化技術については日進月歩であるので、新しい技術を積極的に取り入れ、より一層多様な可視化を進めていただきたい。その際、3グループ間の調整に対して十分注力していただきたい。</p>		